

製品 News

お知らせ

発行 No.

B-2018-02

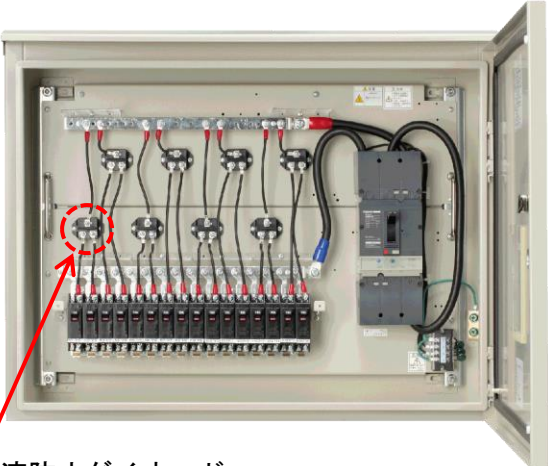
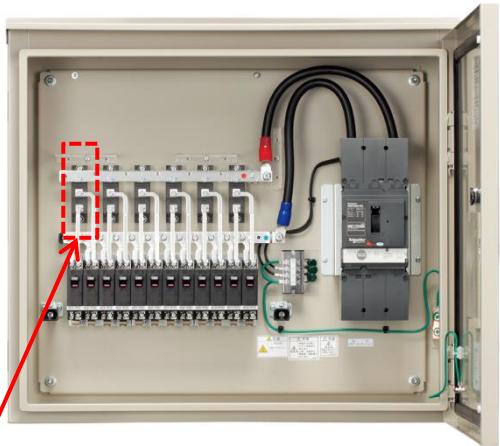


発行月

2018年5月

太陽光発電システム用接続箱(最大入力電圧 DC750V 以下) 逆流防止ダイオードに関する保守対応

太陽光発電システム用接続箱(最大入力電圧 DC750V 対応)モデルチェンジに伴い、2017年6月より逆流防止ダイオードを変更しました。変更前のダイオード(三菱電機株式会社製ダイオード RM50CA-24F)の製造中止に伴い、保守用在庫が無くなった際の対応方法についてお知らせします。

<参考>モデルチェンジによる変更内容

	変更前	変更後
接続箱	 <p>逆流防止ダイオード</p> <p>例：PV-16R(出力側遮断器タイプ)</p>	 <p>逆流防止ダイオード</p> <p>例：PV-12R-TKB(出力側遮断器タイプ)</p>
逆流防止ダイオード	 <p>メーカー：三菱電機株式会社(以下三菱電機)</p> <p>機器名称：RM50CA-24F</p>	 <p>メーカー：株式会社三社電機製作所(以下三社電機)</p> <p>機器名称：DKA60KB160</p>

(詳細は製品 News「分 2016-32」のご確認をお願いします。)

対象製品

太陽光発電システム用接続箱(最大入力電圧 DC750V 以下)の標準品・標準変形品・個別受注品全て

対象範囲

1. 接続箱の故障に伴う対応
2. 回路増設用スペースを設けている接続箱の回路増設対応

対応方法

三菱電機製ダイオードの保守用在庫が無くなった際は、基本的には接続箱ごと代替製品への交換となります。なお、一部機種は代替製品の内器交換にて対応いたします。接続箱に備え付けられている納入仕様書の図面番号もしくは、定格銘板記載の製造番号および、製作年月日をご連絡ください。

■2012年4月以前に納入した接続箱(PV-□□(H)-(S)0R)については代替製品への接続箱ごとの交換となります。

●標準品・標準変形品

入力回路数	対応方法	
	出力側遮断器タイプ	出力側端子台タイプ
4	代替製品への交換 ※1	代替製品への交換 または 内器交換 ※2
8		
12	代替製品への交換 または 内器交換 ※2	
16		
20		
24		
28		

※1 入力回路数 4、8 回路の機種はモデルチェンジ後(2017年6月発売 PV(T)-□R-TKB)にキャビネットが大きくなっているため内器交換での対応はできません。設置スペースを確認の上ご用命ください。設置スペースに入らない場合は旧モデルでの内器製作(ダイオードは三社電機製ダイオードを使用)にて対応します。

※2 12~28 回路の機種については既設キャビネットサイズに合わせた内器製作を行います。内器交換の際は機器配置が異なりますのでご了承ください。

●個別受注品

内器交換にて対応いたします。 ※3

※3 既設キャビネットに収納不可能な際は、接続箱ごとの交換にて対応する場合がありますのでご了承ください。

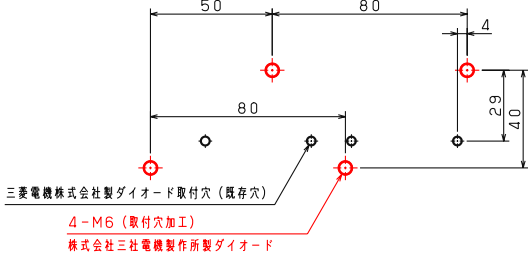
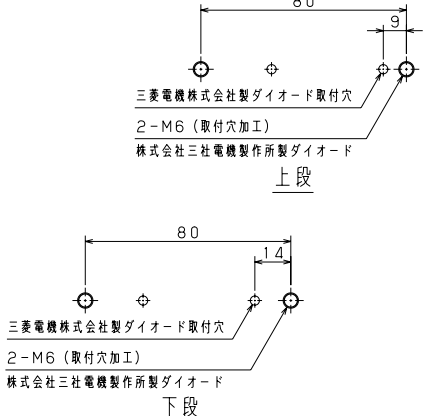
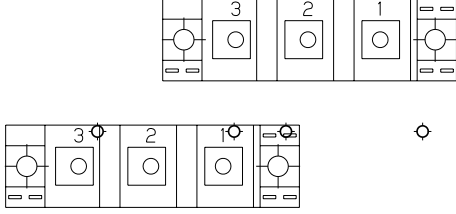
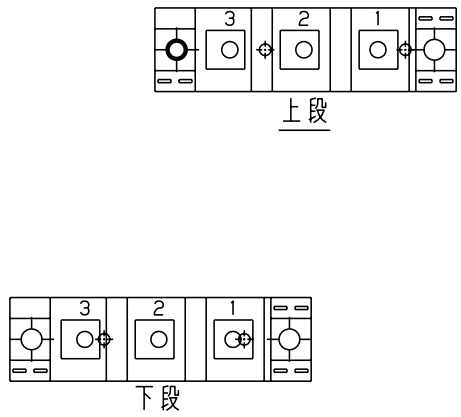
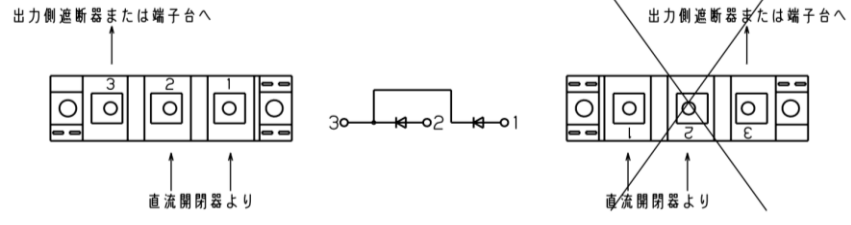

●代替製品および内器交換の対応が困難な場合

上記対応が困難な場合は、お客様での取付穴加工によるダイオード交換および、ハーネス交換をお願いします。交換の際は次項の推奨値にて取付穴加工およびねじの締付けをお願いします。

(ダイオードおよびハーネスは当社へご依頼ください。 ※4)

※4 個別受注品のハーネス提供はできないためご了承ください。

●三社電機製ダイオード DKA60KB160 交換時の推奨値 (コンパクトタイプ (PVC) は取付穴加工による対応はできません。)

回路数	4 回路以下	5 回路以上 ■ダイオードーコあたりの加工寸法
推奨加工寸法		
取付後の概観		
取付方向	 <p>注意 ダイオードの取付向きを間違えると火災事故のおそれがあります。</p>	
推奨締付トルク	<p>取付ねじ (M6) : 2.5~3.9 [N・m] (25~40 [kgf・cm])</p> <p>■放熱性に影響がありますので推奨締付トルクにて締付けてください。</p> <p>端子ねじ (M5) : 1.5~2.5 [N・m] (15~25 [kgf・cm])</p>	
交換後の外観	<p>例 : PV-12R</p> 	

●ダイオード交換時のご注意

1. 三菱電機製ダイオードを搭載した既設接続箱へ三社電機製ダイオードを取付けする際は、お客様での取付穴加工が必要となります。
2. ダイオード交換の作業は電気工事となりますので有資格者にて行ってください。
3. ダイオード交換時は電源や信号を OFF にして作業を行ってください。
感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
4. ダイオードの取付ねじ (M6) および端子ねじ (M5) は前項推奨締付トルクにて締付けてください。
5. 同一接続箱内で三菱電機製ダイオードと三社電機製ダイオードを混在して使用した場合は性能がでないためダイオードの交換を行う場合は同一接続箱内全てのダイオード交換が必要です。
6. お客様にてハーネスの製作を行なう際は MLFC (WL1 又は WL2) もしくは同等以上の性能を持つ電線にて製作をお願いします。

■対応方法はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。